

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	アトリエ コドモブロス				
○保護者評価実施期間	2024年 11月 29日		～	2024年 12月 27日	
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	放デイ44 児発5	(回答者数)	放デイ22 児発2	
○従業者評価実施期間	2025年 01月 08日		～	2025年 01月 31日	
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数)	8	
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 02月 28日				

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動プログラムを固定化せず、チームで立案して個々に合わせて工夫している。	子どもファーストを第一で意見を取り入れながら具体的にどの様にサポートすべきかを話し合っている。様々な材料や道具を取り入れて、新しい発見や経験ができるように工夫している。	子どものやりたい事を実現するために専門のスタッフがサポートするとともに、保護者からのモニタリングや日々のヒアリングも積極的に行いスタッフで共有して支援していく。
2	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている。	セッション毎に活動の様子を撮影して、保護者に記録とともに画像や動画も送信して共有をしている。	今後も継続して、セッション毎に活動の様子を保護者に共有していく。
3	イベントなどを通して、障害のない子どもと活動する機会がある。	兄妹や地域の子ども達も参加できるイベントやワークショップを定期的で開催している。	引き続き、イベントやワークショップを定期的で開催していきたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母の会の活動	父母の会を開催していない。保護者同士が顔を合やす機会は授業以外の待ち時間等以外少なく、交流もあまりない。	親子向けや保護者向けのイベント等も行い、保護者同士の交流の場も必要に応じて行っていきたい。
2	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの周知	職員間ではマニュアルの共有をしているが、保護者への周知があまり行えていない。	スタッフ、生徒、保護者と共有しさらなる周知ができるように努めていく。
3	職員の資質の向上のために研修を行う	必要に応じて研修の機会を設けているが、全職員の参加が難しい場合もある。	虐待防止・身体拘束等の研修をはじめ、子どもの活動を支援する上で必要な知識や技術向上のために職員での会議や研修を増やしていきたい。